

あこがれのたより

9月 

発行責任者 初村 一郎

【校長室より】

『人財』の秋に

全校生徒452名が、それぞれの持ち味を存分に発揮し、互いに協力し合って完全燃焼した体育祭と五高祭。10月23日の創立120周年記念式典に弾みをつける素晴らしい祭典になりました。生徒たちは、ここで得た大きな達成感、満足感を原動力に、今後様々な活動に自信を持って取り組み、更に成長してくれるものと確信しています。台風による順延やコロナ禍で規模を縮小しての実施とはなりましたが、御出席くださった同窓会・PTA役員の皆様、3年生保護者等の皆様方の御厚情に支えられ、盛会のうちに終了できましたことに改めてお礼申し上げます。

さて、120周年のスローガン「立志 ～大いなる飛翔 故郷（こきょう）の未来（ゆめ）を乗せて～」は、「よりよい故郷の未来を築くために、主体的に活動して社会に貢献しようとする精神を育み、志を持って世界に羽ばたいてほしい」という願いがこめられています。

この「社会に貢献しようとする精神」、つまり、「社会に貢献できる人材（ジンザイ）」をいかに育てるか。本校では、バラモンプランを通して実践しているところですが、皆さんはこの「ジンザイ」という言葉に、以下のようないろいろな捉え方があることを御存知でしょうか？

ある企業を訪問したときに目に留まった行動指針を私なりに解釈しなおして表現したものを紹介したいと思います。

| | |
|--------------------------|----------------|
| 人財…自分で考え、自分で成果を上げられる人 | (求められる良いジンザイ) |
| 人材…言われたことなら、自分でやりきれぬ人 | (求められる普通のジンザイ) |
| 人在…言われたことを言われたとおりにやるだけの人 | (避けられるジンザイ) |
| 人罪…言われたこともできないのに、不満が多い人 | (必要とされないジンザイ) |

【人財になるための7つの条件】

- 1 明るく元気な挨拶ができる
- 2 言われなくても自分で考え行動できる
- 3 人が嫌がることでも進んで取り組める
- 4 常に「どうしたらできるか？」を考える
- 5 期限を守ることができる
- 6 報告・連絡・相談がきちんとできる
- 7 人が見ていなくても手を抜かずに頑張れる



会社でも学校でも地域でも、集団はそれを構成する多くの人で成り立っています。すなわち、一人ひとりの質の向上が組織の成果を大きく左右します。一般に「人材」といいますが、その中身は先に示したように「人財」・「人材」・「人在」・「人罪」と様々です。いかに「人材」から「人財」へと生徒たちの自覚を促し得るか、我々大人に課せられた使命だと言えます。

いよいよ120周年、そして秋本番。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、勉強の秋。生徒たちにとって実り多い秋となるよう、様々な経験を通して逞しい「人財」に成長してほしいと思います。

創立120周年記念（第69回）体育祭

去る9月9日（水）、創立120周年記念体育祭が本校第2グラウンドにおいて開催されました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で種目を減らしての実施でしたが、無事終了することができました。短い準備期間で頑張って作り上げた3年生の団別演技や見事な応団幕、また各団の応援合戦、さらに競技では高校生らしい力強さを披露してくれました。終了後、生徒たちが充実感に満ちた表情を浮かべていたのが印象的でした。運営では3年生の実行委員が中心となり準備を進め、当日は部活動を中心に係生徒も積極的に活動してくれたおかげで、スムーズに運営することができました。生徒が創り上げる、生徒が主役の体育祭が実現できたものと思います。この経験を体育祭のみで終わらせることなく、ぜひ今後の生活に活かしてほしいと思います。なお、結果は以下の通りです。

体育祭結果

| | |
|--------|-------|
| 総合優勝 | 黄団 |
| 競技の部 | 赤団 |
| 入場行進の部 | 青団 |
| 応援合戦の部 | 黄団 |
| 団別演技の部 | 黄団 |
| 横断幕の部 | 黄団・赤団 |



体育祭を終えて

体育祭実行委員長 井川梨沙子

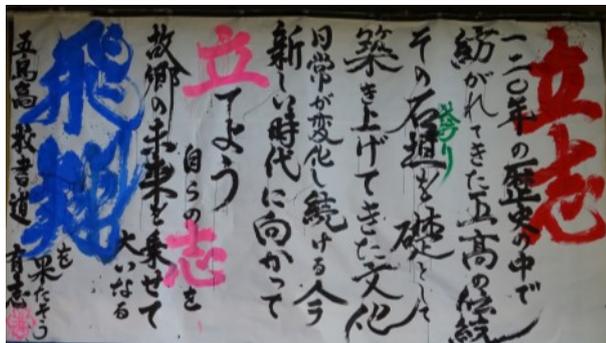
「駆（かける）～輝く未来（ゆめ）に向かって～」のテーマのもと、創立120周年記念体育祭が盛大に開催されました。しかしその裏ではたくさんの方々の努力があったことを忘れてはなりません。世界中で問題となっている新型コロナウイルス感染症の影響で、県内では体育祭が中止となった学校もある中、五島高校の体育祭をなんとか開催しようと尽力してくださった先生方、テーマ発表から当日の実施まで準備に携わってくれた実行委員、団長をはじめとする3年生、そして一生懸命ついてきてくれた1・2年生、関わったすべての人の努力が、笑顔溢れる充実した体育祭を作り上げました。来年には現在のこの状況が収束していることを願いつつ、1・2年生には今年を上回るすばらしい体育祭を作り上げて欲しいと思います。

創立120周年記念五高祭 9月13(日)

今年度の五高祭は、創立120周年記念五高祭として、『KAKERU～120年、そして未来へ～』をテーマに開催しました。他の行事と同様に、新型コロナウイルスの影響で例年通りの開催とはいかず、短縮日程に加えて様々な部分で制約のある開催となりましたが、文化部とともに、呼びかけに対して有志として集まった約60名の五高祭実行委員がステージ部門、展示部門、映像部門に分かれ、それぞれ趣向を凝らした発表を行いました。観覧する生徒も後押しをするように全体で盛り上げ、五高生の仲間が創り出す『文化の力』の素晴らしさを感じることができたようでした。

保護者の皆様には今年もバザーなどにご協力をいただき、大変お世話になりました。また一方で、体育館の入場制限でご不便をおかけしましたことをお詫びいたします。

今後も「五高祭」が五高生にとって文化を考え、文化を表現できる舞台となるよう、教職員生徒一同、努力を重ねていきたいと願っています。今後とも、五高祭、そして本校生徒会へのご協力、よろしくお願いいたします。



実行委員の感想

私は今回、新型コロナウイルスにより縮小開催となった五高祭を少しでも盛り上げたいと思い、実行委員になりました。自分たちで計画と準備、そして運営することはとても大変でしたが、たくさんの人の協力により素晴らしい五高祭を創り上げることができたと思います。本当にありがとうございました。

五高祭実行委員展示部門担当
2年 田中 香

私は実行委員のステージ部門で劇を行いました。協力して最高のものを創り出すことを目標に準備しましたが、その過程は決して順調ではありませんでした。しかし今回の経験を通して劇の完成だけではなく、大きなものを得ることができたように感じました。携わってくれたみんなに感謝しています。ありがとうございました。

五高祭実行委員ステージ
(劇)部門担当 1年 中村聖永



五島高校オープンスクール(全体)

8月30日(日)に、本校のオープンスクールが行われました。島内外から144名の中学生が来校しました。はじめに、学校紹介DVDの上映と生徒会執行部による学校の説明を行いました。その後、本校職員による各教科の授業を体験しました。高校で学ぶ内容を中学生でもわかるようにアレンジした授業は大変好評でした。最後に「先輩と語ろう!」と題して、それぞれの中学校を卒業した高校1年生との交流会を行いました。ここでは「高校の宿題はどのようなものか」「部活動は楽しいか」など、高校生活に関する多くの質問が出ました。ボランティアとして協力してくれた1年生も、頼もしい先輩としてしっかりと話をしてくれました。

(スポーツコース)

8月30日(日)にスポーツコースのオープンスクールが開催され、スポーツコースの1、2年生は前日からの準備に一生懸命に取り組みました。オープンスクールには島外から15名、島内から21名、合計36名の中学生が参加しました。はじめに、校長先生の歓迎の挨拶、その後、学校紹介ビデオの視聴やスポーツコースの年間行事についての説明、さらにスポーツに関する授業の内容等についての説明があり、参加した中学生は真剣な表情で話を聞いていました。その後、陸上、柔道、剣道の3競技に分かれて実技講習会が行われ、本校の生徒も中学生と一緒に参加して、とても充実した時間になりました。



体育祭・五高祭バザー

P T A総務委員会の活動として、体育祭では飲料バザーを実施しました。また、五高祭では飲料バザー、食物バザー、リサイクルバザーを実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため、例年より規模を縮小して実施しましたが、多くの方にご来場いただき、大盛況でした。この売上は、1月末に行われるマラソン大会に併せてP T A進路対策委員会が行う、生徒激励のための炊き出しに用いられます。リサイクル品の物品提供など、たくさんのご協力をありがとうございました。

